

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊連携派遣募集用 国別一覧

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣ができません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力量針 (注)詳細は外務省サイトでご確認ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ可としている地域に限る。	受入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ不可としている地域でも不可とする地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
アジア	インド	歓迎	・共創による産業の発展強化 ・多層的な連結性の強化 ・クリーンな社会経済開発	日本語教育、スポーツ	日本語教育分野を歓迎。他スポーツ分野はインド側次第(案件の公式化、受入確認)で可	日本語教育以外は、印政府側の案件公式化・受入確認に非常に時間がかかることを考慮し上で検討	安全対策措置上問題のない地域(北東州提案は、州・都市によって可・不可があるため要注意)	・一般渡航不可の全地域 ・安全対策措置上、禁止している地域(複数地域有)	日本語で配属先が大学となる案件の場合は、英語力A以上を推奨、スポーツの場合はその限りではない。	<a href="https://www.jica.go.jp/Resource/press/2022/20230322_30.html">https://www.jica.go.jp/Resource/press/2022/20230322_30.html</a>		
アジア	インドネシア	可	・国際競争力の向上に向けた支援 ・均衡ある発展を通じた安全で公正な社会の実現に向けた支援 ・アジア地域及び国際社会の課題への対応能力向上に向けた支援		職種「料理」は特に歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全対策措置上問題のない地域	安全対策措置上、禁止している地域	・45歳以下は必須(住居及び健康維持管理環境が劣悪) ・査証取得に時間がかかるため、赴任は訓練終了から約4か月後			
アジア	ウズベキスタン	歓迎	・持続可能な経済成長と産業の多角化・高度化 ・公平かつ持続可能な社会の構築 ・ガバナンスの強化	・保健(看護師、保健師等) ・社会福祉分野(理学療法士、作業療法士、障害児支援等)	・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎 ・国別開発協力量針に記載がない場合でも、将来的な連携の可能性のある分野においても検討可能なため相談は歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全対策措置上問題のない地域	安全対策措置上、禁止している地域	・ウズベク語もしくはロシア語でのコミュニケーションが必須。(隊員はウズベク語で活動可能な配属先のみに限定) ・ご興味のある方、不明点などは相談にのれますので、連絡を頂ければと存じます。	<a href="https://www.jica.go.jp/overseas/uzbekistan/index.html">https://www.jica.go.jp/overseas/uzbekistan/index.html</a>	<a href="https://www.instagram.com/jicauzbekistan?igsh=aGRuazk5MwDpc6k3">https://www.instagram.com/jicauzbekistan?igsh=aGRuazk5MwDpc6k3</a>	<a href="https://www.facebook.com/JICAuzbekistan/?locale=gl_ES">https://www.facebook.com/JICAuzbekistan/?locale=gl_ES</a>
アジア	カンボジア	可	・産業振興支援 ・生活の質向上 ・ガバナンスの強化を通じた持続可能な社会の実現		国別開発協力量針に沿った分野であれば可	国別開発協力量針に沿っていない分野	・安全対策措置上問題のない地域 ・原則としてプノンペン都、シエムリアップ州、バタンバン州	左記以外(その時の状況により判断)	・活動上クメール語は必須。短期隊員の場合は、それをサポートする長期隊員の同時期派遣が条件 ・教育系は長期休暇の時期以外			
アジア	キルギス	歓迎	・産業育成と雇用の創出 ・行政・社会サービスの向上	・産業育成と雇用の創出 ・行政・社会サービスの向上	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎(特に、ICT、デザイン、理学療法士、作業療法士、スポーツ関連の職種)	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも歓迎	安全対策措置上、禁止している地域	・活動言語はロシア語、あるいはキルギス語のどちらか一方になりますが、両言語が使われる場面も多々あります。 ・医療事情が脆弱な国であるため、派遣地域によっては年齢制限の可能性有	<a href="https://www.jica.go.jp/Resource/kvrgvz/office/activities/volunteer/index.html">https://www.jica.go.jp/Resource/kvrgvz/office/activities/volunteer/index.html</a>	<a href="https://www.facebook.com/JICAkvrgvzRepublic/?locale=ja_JP">https://www.facebook.com/JICAkvrgvzRepublic/?locale=ja_JP</a>	<a href="https://www.instagram.com/jicakvrgvzrepublic?igsh=aGEONm1NjicmRo">https://www.instagram.com/jicakvrgvzrepublic?igsh=aGEONm1NjicmRo</a>
アジア	ジョージア	歓迎	・安定した経済成長促進のための支援 ・環境に優しく、自然災害に強い社会の構築に対する支援 ・産業振興のための人材開発に対する支援(農業、地域開発、SME) ・社会セクターに対する支援(保健・医療、教育)	①地域活性化のための支援 一村一品運動等(コミュニティ開発、マーケティングなど) ②自治体の行政サービスの向上(障害者支援、行政サービスなど) ③日本語教育は協力隊員派遣が始まったばかりであり、10年レベルで継続して支援していく予定	・国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎 ・日本語教育分野は特に歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全対策措置上問題のない地域	当国安全対策措置に準じ、以下の地域は受け入れ不可 ・南オセチア周辺(E60号線道路沿線を除く) ・アブハジア自治共和国周辺 ・ロシアとの国境周辺 ・南オセチア ・アブハジア自治共和国	・継続した派遣により、線・面的な展開が可能となる案件を歓迎 ・日本に対する興味関心も高まっており、大学、民間企業、地方自治体など連携の可能性の幅は広い。			
アジア	スリランカ	可	・質の高い成長の促進 ・包摂性に配慮した開発支援 ・脆弱性の軽減	日本語教育、農業、スポーツ、教育(小学校教育、体育、数学、音楽など)の分野を歓迎	・特に日本語教育、農業、スポーツ分野は歓迎。大学等の知見活用が見込まれる場合は社会人経験が無くても受入可能。 ・教育分野は小学校教育、体育、数学、音楽など幅広い科目(職種)で要望が見込まれる。 ・スポーツ分野は野球、バレーボール、バドミントンの要請が挙がっているが、その他の競技(柔道、サッカー、水泳など)についてもニーズを確認することはできる。	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも歓迎		活動上、日本語教育分野以外はシンハラ語必須。ただし短期隊員については、短期隊員をサポートする長期隊員や連携先の要員がシンハラ語をできるようであれば必須としない。			
アジア	タイ	可	・持続的な経済の発展と成熟する社会への対応 ・ASEAN域内共通課題への対応 ・第三国支援の実施		・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎(高齢者介護、障害児・者支援、日本語教育等) ・技術プロジェクト、車の根拠条件との連携歓迎(実施後のフォローアップ、自治体連携なども可) ・ICT分野での連携(高専・スーパーサイエンスハイスクールなど)、マーケティングや商品開発、観光等を活動で行う企業との連携提案を歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全対策措置上問題のない地域(隊員派遣地域)	安全対策措置上、禁止している地域	・公的行政機関への民間連携隊員の派遣に関し、受入れが難しい可能性有 ・教育機関(大学・施設)においては受入れ実績有 ・NGOへの派遣は不可	<a href="https://www2.jica.go.jp/ja/oda/index.php?anken=&amp;area1=%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2&amp;country1=%E3%82%BF%E3%82%A4&amp;area2=&amp;country2=&amp;area3=&amp;country3=&amp;field1=&amp;field2=&amp;field3=&amp;tech_ga5B%5D=%E6%8A%80%E8%A1%93%E5%8D%94%E5%8A%9B&amp;start_from=&amp;start_to=&amp;search=%E6%A4%9C%E7%B4%A2">https://www2.jica.go.jp/ja/oda/index.php?anken=&amp;area1=%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2&amp;country1=%E3%82%BF%E3%82%A4&amp;area2=&amp;country2=&amp;area3=&amp;country3=&amp;field1=&amp;field2=&amp;field3=&amp;tech_ga5B%5D=%E6%8A%80%E8%A1%93%E5%8D%94%E5%8A%9B&amp;start_from=&amp;start_to=&amp;search=%E6%A4%9C%E7%B4%A2</a>		
アジア	タジキスタン	歓迎	・経済・産業開発基盤の整備 ・基礎的社会サービスの向上 ・安定化促進	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	受入れ不可とした地域以外は原則可(今後は段階的な地方派遣を検討中であるものの、記入時点では首都(及び近郊)への派遣が中心)	アフガニスタン、キルギスとの国境付近及びバミール高原への渡航及び受け入れは安全上の観点から不可	特になし			
アジア	ネパール	歓迎	・経済成長及び貧困削減 ・防災及び気候変動対策 ・ガバナンスと民主化の強化		「農業」「保健医療」「教育」「環境」「スポーツ」を歓迎。 水産開発系、土壌肥料、バイオテクノロジー、作業療法士、医療機器、障害児者支援、理数科教育、廃棄物、高齢者支援等の職種が含まれる提案は特に歓迎。 また、法整備、デジタルデータ、気候変動、民主化促進(選挙支援)、公共機関のDX化、メタバース、eスポーツといった新しい分野も積極的に検討が可能	安全対策措置上問題のない地域。ただし、治安状況は流動的であり、当面はバグマティ州、ガンダキ州での受入れが現実的	「マデシ州」は安全上の理由から不可。その他山岳地域はアクセスや医療施設に問題があり、受け入れは困難	・ビザ取得のため、最終学歴証明書が職種に関連しない場合は、職種関連卒業証明書、または職種関連資格証明書が必要 ・「農業」「教育」分野については歓迎するものの、単に野菜栽培、果樹栽培法を現地の人に教えるといった活動ではなく、テクノロジーと掛け合わせるなど新しい農業支援ができる案件を推奨 ・教育についても算数教育などにICTをかけ合わせるような付加価値の高い案件の提案を推奨				

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊連携派遣募集用 国別一覧

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣はできません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力量針 (注)詳細は外務省サイトでご確認ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ 可としている地域に限る。	受け入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ不可としている地域でも 不可とする地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
アジア	バングラデ シュ	可	・中所得国化に向け た、全国民が受益可能 な経済成長の加速化 ・社会脆弱性の克服	国別開発協力量針に沿った 分野	国別開発協力量針に沿った分野であれば 可	国別開発協力量針に沿って いない分野	現状新規受入不可。外務 省危険レベルが現在の2 から1に下がった際には ダッカ、チョットグラム管 区にて受入可。	ポリシャル、クルナ、シ レット、マイメイシ ン、ラッシャヒ、ロン グプール管区は協力隊 事業未再開の地域であ るため、受入不可。	外務省危険レベルが現 在の2から1に下がるこ とが前提。			
アジア	フィリピン	可	・持続的経済成長のた めの基盤の強化 ・包括的な成長のため の人間の安全保障の確 保 ・ミンダナオにおける 平和と開発	・社会開発分野（コミュ ニケーション、障害児者 支援） ・農業分野（野菜栽培） ・職業訓練分野（コン ピューター技術、料理等） ・スポーツ分野	・国別開発協力量針に沿った分野であ れば可	国別開発協力量針に沿って いない分野	基本的にルソン島及びビ サヤ地域内	・マニラ首都圏への派遣は原則不可（フィ リピン政府の意向により） ・隊員派遣対象地域以外は不可 （派遣対象のルソン島及びビサヤ地域内 でも安全上の理由により派遣していない地 域もあるため、必要に応じて要相談。） ・地域によっては渡航が制限されていた り、適切な医療へのアクセスが容易でない 場合も有	査証取得に時間がかかるため、赴任は訓練終了 から約3か月後			
アジア	ブータン	歓迎	・持続可能な経済成長 ・強靱性の強化	・IT分野（コンピュータ技 術、通信インフラ等）	・国別開発協力量針に沿った分野であ れば可 ・コンピュータ技術、通信インフラ等のIT分 野職種が含まれる提案は特に歓迎。	国別開発協力量針に沿って いない分野	受入れ不可とした地域以 外は可	・ブータン安全対策措置に沿った対応とな る為、一部地域への派遣は不可。加えて ブータン政府の承認が得られない地域が ある為、国境付近への派遣など地域を限 定される場合は要相談 ・首都から片道2日以上かかるような遠方 の僻地へ派遣を希望する場合、複数の隊 員派遣を条件とするなどの可能性有	医療事情が脆弱であるため、派遣地域によっては 年齢制限を設ける可能性有			
アジア	ベトナム	可	・成長と競争力強化 ・脆弱性への対応（成 長の負の側面への対 応） ・ガバナンス強化	地域開発分野 ・観光 ・文化財保護（芸芸員、考 古学） ・料理 農業高付価値化分野 ・野菜栽培 ・マーケティング など	・左記以外にも、国別開発協力量針に沿 った分野であれば可能。 ただし、派遣規模や方針の慎重な検討が 必要であるため、希望に添えない場合あ り。	国別開発協力量針に沿って いない分野	安全対策措置上問題のな い地域	国境近辺や山岳地域を活動対象地域とす る場合は、公安による行動制限が厳しいた め不可	・2025年度は公募案件を多く抱えているため、新 規案件作成については、十分な相談と検討が必 要。 ・当国においては受入れに際して基本的に3年以 上の就労経験が条件となっていることに留意が必要 ・活動上ベトナム語習得は必須のため、ベトナム語 習得が可能な年齢(45歳以下)			
アジア	マレーシア	歓迎	・高所得国入りに向け た均衡のとれた発展の 支援 ・アジア地域共通課題 への対応 ・アジア地域を越えた 日・マレーシア開発 パートナーシップの強 化	・産業人材育成（職業訓 練） ・環境保全 ・障害児者支援 ・高齢者介護 ・スポーツ	・国別開発協力量針に沿った分野であ れば積極的に歓迎。 ・産業人材育成分野では、自動車整備、電 気・電子機器・設備、コンピュータ技術、日 本語教育を特に歓迎。 ・環境保全分野では、環境教育、生態調査 を特に歓迎。 ・社会福祉分野では、高齢者介護、作業療 法士、理学療法士、障害者スポーツを特 に歓迎。 ・アセアン連携推進分野では、理科教育、 数学教育を歓迎。 ・スポーツ・文化・地域開発支援分野では、 新体操、柔道、体操競技などのスポーツ 分野を特に歓迎。	国別開発協力量針に沿って いない分野	安全対策措置上問題のな い地域	安全対策措置上、禁止している地域	・活動言語はマレー語、英語のいずれかであり、配 属先によって学習する言語が異なる。 ・マレー半島の都市部を除く地域においては、健康 管理の観点から45歳以下の派遣を原則とする。			
アジア	モルディブ	可	・地域振興による強靱 な経済・社会構造の構 築 ・環境・気候変動対 策・防災 ・ガバナンス能力の強 化		国別開発協力量針に沿った分野であれば 検討可	国別開発協力量針に沿って いない分野	安全対策措置上問題のな い地域	安全対策措置上、禁止している地域	・島しょ国家であり、関係者や住民などの良好な 関係を構築できる人材の派遣を推奨。価値観を受 容できる人材の派遣を強く求める。(ムスリム国家 であるため、活動・生活地である住民島での飲酒・ 豚肉喫食不可、など) ・住居形態は原則ホームステイ ・学校派遣の場合、体育などの情操教育、環境系 の啓発等に関連する活動にも参加が求められる 場合がある。			
アジア	モンゴル	歓迎	・健全なマクロ経済の 実現に向けたガバナ ンス強化 ・環境と調和した均 衡ある経済成長の実 現 ・包括的な社会の実 現		・国別開発協力量針に沿った分野であ れば積極的に歓迎（*保健医療分野除く）。 ・特に産業振興・産業人材育成等、産業多 角化に資する分野「マーケティング」「観 光」を特に歓迎 「野菜栽培」「農業普及」「環境教育」「水産 開発」も可	「保健医療」分野は隊員数過多 のため不可	ウランバートル市から移 動時間が片道概ね10時 間以内であり、かつ首都 までの救急車の利用が可 能である地域	安全対策措置上、禁止している地域	・査証取得には手続き開始から30日程度を要す る。派遣後は当地で外国人登録証を発行して在留 証明に変更可能 ・活動上モンゴル語は必須	JICA海外協力隊「世界日記」	JICAモンゴル事務所「JICA公式WEB ページ」	JICAモンゴル事務所「青年海外協力 隊紹介ページ」
アジア	ラオス	可	・財政安定化をはじめ とするガバナンス強化 および分野横断的な課 題への対応 ・周辺国とのハード・ ソフト面での連結性強 化 ・産業の多角化と競争 力強化、そのための産 業人材育成 ・環境・文化保全に配 慮した均衡のとれた都 市・地方開発を通じた 格差是正		小学校教育(算数)、環境分野(水質検査 等)や体育・スポーツ分野であれば検討可 能。	国別開発協力量針に沿って いない分野	安全対策措置上問題のな い地域	サイソンプン県およびシェンクワン県の一 部は安全上の理由から不可	活動上ラオ語は必須	https://ja- jp.facebook.com/jicalaos/		
アジア	東ティモ ール	可	1.経済社会基盤(インフ ラ)の整備・改善 2.産業の多様化の促進 3.社会サービスの普 及・拡充	受入可能であるすべての分 野	「農業」、「観光」、「保健」、「教育(算数、体 育、IT、日本紹介(青少年活動)中での日 本語を含む文化等の紹介)」	国別開発協力量針に沿って いない分野	デイル県、リキサ県、アイ レウ県、マナウトゥ県、バ ウカウ県、エムララグレ ノ、アイナロ県マウピシ、 ボボナロ県マリアナ、コバ リマ県スアイ	受け入れ可能地域記載以外への派遣は 安全上の理由から不可	活動上テトゥン語は必須			

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊連携派遣募集用 国別一覧

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣ができません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力方針 (注)詳細は外務省サイトでご確認ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ 可としている地域に限る。	受入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ可としている地域でも 不可とする地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
中近東	ヨルダン	歓迎	・安定の維持と産業基盤の育成 ・持続可能な経済成長に向けた基盤整備 ・国内及び周辺地域の安定化促進	・国別開発協力方針に沿った分野 ・産業振興分野「建設機械」を特に歓迎		・「日本語教育」については既に連携案件実施中のため不可	シリア、イラク国境地域等の受け入れ不可とした地域以外は可	イルビッド、マアーンは安全上の理由から現時点で隊員を派遣していない地域のため不可	セクハラ対策の観点から男性隊員を推奨			
中近東	エジプト	歓迎	・持続的経済成長の促進 ・社会的包摂の促進 ・教育・人材育成と地域協力の促進	・小学校教育 ・体育 ・音楽 ・幼児教育	小学校教育、体育、音楽、幼児教育	「柔道」は既に連携を締結しているため不可	国別安全対策措置の渡航レベル1の受け入れ不可地域の地域を除いた地域	・アスワンは長期派遣に耐えられる医療機関が確認されないため不可 ・ダハブは治安上の理由によりJICA関係者の短期渡航も留意している地域で不可 ・シャルムエルシェイクは生活水準が隊員活動に不向きのため不可 ・その他、レベル1地域でもミニア以南ケナまでは、長期滞在については安全上の懸念があるため不可	活動上アラビア語が必須	<a href="#">Egypt-Japan Education Partnership (EJEP)   Egypt   Countries &amp; Regions   JICA</a>		
中近東	チュニジア	歓迎	・経済インフラ等の整備と人材育成、治安維持能力強化 ・地域間格差の是正に向けた生活環境の改善、地方産業振興		国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎 特に「柔道」、「剣道」を歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	受け入れ不可とした地域以外は歓迎	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
中近東	モロッコ	可	・経済競争力の強化 ・包摂性及び持続性に配慮した社会開発の促進 ・南南協力の促進		・国別開発協力方針に沿った分野であれば可 ・ICT教育(教材フリー開発、デジタル化)、パラスポーツ(陸上競技)、日本語教育、女性のための所得創出(美容師、料理、服飾等)分野は積極的に歓迎	・保健分野の場合、医療(侵襲)行為を伴う案件は不可 ・職種「PCインストラクター」は隊員数過多のため不可	首都から陸路で片道4時間以内の地域	安全対策措置上、禁止している地域	・現地での潜在許可証の申請手続きに警察証明書(犯罪経歴証明書)の取得が必要 ・相手国政府要請取り付けに数ヶ月以上を要しており、現在隊員派遣を行っていない分野(農水産業、水・環境)については、個別対応が必要なため、応募相談時に詳細を要確認			
中南米	アルゼンチン	不可: 既に大学連携が進行中のため。										
中南米	エクアドル	歓迎	・経済基盤整備 ・格差是正・包摂的な社会の実現 ・環境保全・防災		国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	現在隊員が派遣されている県(または派遣が決まっている県)	安全対策措置上、禁止している地域(特にグアヤス県・グアヤキルなどは派遣不可)	特になし			
中南米	エルサルバドル	可	・経済の活性化と雇用拡大 ・持続的開発のための防災・環境保全 ・包摂的な開発の促進		・国別開発協力方針に沿った分野であれば可 ・特に東部地域開発関連の案件を歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	国別安全対策措置で「地域1」の地域	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
中南米	キューバ	可	・農業開発 ・保健医療 ・環境保全 ・社会経済基盤の整備		国別開発協力方針(農業開発、保健医療、環境保全、社会経済基盤の整備)、日本語教育及び観光の分野であれば可	国別開発協力方針に沿っていない分野	ハバナ県15市内のみ可	安全対策措置上、禁止している地域	・40歳以上69歳までのシニアボランティアのみ受入可(国際約束上の制約のため)、生活条件は厳しいため途上国での業務と生活の経験を有する人材を推奨 ・経済制裁、社会主義体制を要因とした活動上の制限有			
中南米	グアテマラ	歓迎	・貧困地域の社会・経済開発 ・環境・防災	・教育分野(算数・数学) ・農業(SHPP、土壌肥料) ・保健(栄養、母子保健) ・中小起業家支援(女性支援、地域ブランディング、一村一品など) ・環境・防災	・国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎(または可)。 ・貧困層の生活改善、地域活性化、環境・防災の各分野を歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	都度治安状況をみて判断	以下は、安全上の理由から概ね不可。(配属先となるエリアの安全性および交通手段の綿密な調査をしたのち、場合によっては受入可能とする場合も有) グアテマラ県、チマルテナンゴ県、エスクイントラ県 イサバル県、チキムラ県、サカバ県、フティン県	活動上、スペイン語は必須			
中南米	コスタリカ	歓迎	・環境保全 ・格差是正	国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎	国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	どの地域でも歓迎	リモン市、プンタレナス市	・基本的に活動上西語は必須。分野によっては英語も可 ・2月に大学連携で野球短期隊員を受け入れるため、2月付近の受け入れは不可			
中南米	コロンビア	可	・和平プロセスの履行期における均衡のとれた社会経済発展 ・環境問題及び気候変動対策や災害対策への取組		地域活性化(一村一品、一次産業活性化)、障害者支援、教育、スポーツ、生産性向上、経営管理、防災、環境、再生エネルギーの各分野における提案を歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	支所のレベル1の地域でサンアンドレス、レティシア以外の地域	安全対策措置上、禁止している地域	活動言語はスペイン語			
中南米	ジャマイカ	可	・強靱な社会の構築 ・持続可能な経済開発	防災・災害対策 環境 教育 福祉 行政サービス 産業振興	国別開発協力方針に沿った防災、環境、教育、福祉、行政サービス向上や産業振興の各分野を歓迎。 特に基礎教育分野(算数/数学)は連携実績も有	国別開発協力方針に沿っていない分野	都度治安状況をみて判断	安全対策措置上、禁止している地域 (St. James県、St. Andrew県(Kingston含む)、Westmoreland県、Clarendon県、St. Catherine県)	高等教育機関への派遣には、高い語学力を要求される場合有			

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊連携派遣募集用 国別一覧

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣ができません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力量針 (注)詳細は外務省サイトでご確認ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ 可としている地域に限る。	受入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ可としている地域でも 不可とする地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
中南米	セントルシア	不可: 既に大学連携 が進行中のた め。										
中南米	チリ	歓迎	・社会的包摂性を持つ 持続可能かつ強靱な社 会の実現 ・防災・災害対策 ・三角協力の推進	・高齢者支援 ・障害者分野(主にリハビリ系) ・防災・災害対策 ・環境教育分野	国別開発協力量針に沿った分野(防災・災害対策、高齢者支援(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、環境教育、スポーツ)であれば積極的に歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	La Serena以南、Puero Montt以北 (国土が長距離に亘っているため、安全面の観点による)	安全対策措置上、禁止している地域	・受入確認に時間を要するため、訓練後派遣までの日程は受入確認取得期間を考慮する必要有 ・活動・生活言語はスペイン語			
中南米	ドミニカ共和国	歓迎	・持続可能な社会経済 開発 ・健全かつ調和のとれたガバナンスと横断的課題への対応能力強化	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎	国別開発協力量針に沿った分野であれば可 ※2024年2月に協力量針を整理、重点分野の見直しあり。(リンクしている外務省サイトのものは平成30(2018)年度)	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	基本的に活動上西語は必須	https://www.jica.go.jp/overseas/dominicanrep/_jcsFiles/afiedfile/2024/09/24/jcap_do.pdf		
中南米	ニカラグア	歓迎	・経済開発の促進に向けた基盤づくり ・貧困層・地域における社会開発 ・環境保全と防災	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎	国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎 特に以下の分野や職種における提案を歓迎 ・環境教育、廃棄物処理(マナグア湖浄化にかかる案件) ・スポーツ(柔道、野球等)、日本語教育	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも歓迎	次の地帯は不可 ・北カリブ海岸自治区 ・南カリブ海岸自治区(ヌエバグネア市、エルラマ市を除く) ・ヒノテガ県	特になし			
中南米	パナマ	可	・環境に配慮した経済 基盤整備 ・格差是正		国別開発協力量針に沿った分野であれば可	国別開発協力量針に沿っていない分野	当国の安全対策措置上問題ない地域であれば、どの地域でも可。	安全対策措置上、禁止している地域 (コロン市、ダリエン県のコロンビア国境に接する地域、グナ・ヤラ自治区)	活動・生活上、スペイン語は必須			
中南米	パラグアイ	不可: 既に大学連携 が進行中のた め。										
中南米	ブラジル	可	・都市問題と環境・防 災対策 ・投資環境改善 ・三角協力支援	文化(太鼓、料理)、サブカルチャー(漫画、コスプレ、アニメソング等)は歓迎	国別開発協力量針に沿った分野であれば可。特に隊員確保が難しい希少職種の文化(太鼓、料理)、サブカルチャー(漫画、コスプレ、アニメソング等)は歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
中南米	ペルー	歓迎	・強靱な社会の構築 ・持続可能な経済開発	・環境教育 ・障害児者・支援	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎。環境教育、障害児・社支援は特に歓迎。	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	派遣規模目安15人を上回る場合は安全管理の観点から受け入れを見合わせる可能性有			
中南米	ペルー	歓迎	・経済社会インフラの 整備と格差是正 ・環境対策 ・防災対策	防災 職業訓練系 観光 考古学・博物館系職種	・職業人材育成、文化財保護、観光開発、防災対策、日本語教育での提案を歓迎 ・日系社会に貢献する案件は職種に関わらず大歓迎 ・国別開発協力量針に沿った分野であれば可	短期連携中心の連携案件は対応不可。	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	既にスポーツ短期連携が2件動いていること、今後VCが1名減となるため、これ以上の短期連携は対応不可。			
中南米	ボリビア	歓迎	・経済基盤の整備及び 生産分野の多様化 ・社会的包摂の促進	・環境(廃棄物処理・環境教育・水資源開発) ・農業(野菜栽培・コミュニティ開発・土壌肥料) ・農業(野菜栽培・コミュニティ開発)(注: SHEPクラスター連携案件)	(1)環境(廃棄物処理・環境教育・水資源開発) (2)農業(野菜栽培・コミュニティ開発・土壌肥料) (3)保健(栄養)(看護師・助産師・保健師・栄養士) (4)教育及びスポーツ(小学校教育・青少年活動)	「サッカー、野球」は既に連携を締結しているため不可	安全対策措置上、問題のない地域	安全対策措置上、禁止している地域	短期派遣では、ラパス市、エルアルト市、オルロ県及びポトン県の大部分は標高4000メートル近くであるため高地順応に期間が必要			
中南米	ホンジュラス	可	・地方開発 ・防災及び環境・気候 変動対策		以下の分野・テーマについては特に歓迎 ・スポーツ振興(体育、柔道等) ・教育(算数、小学校教育、幼児教育、体育等) ・保健分野(看護師、保健師、助産師等) ・ゴミ問題(廃棄物処理、環境教育等) ・安全な水(上水道、水質検査等) ・自治体能力強化(行政サービス、環境行政、道路、土木、都市計画等) ・防災(防災・災害対策等) ・地域振興(コミュニティ開発、農産物加工、観光等) ・職業訓練(自動車整備、電気、電子設備等)	国別開発協力量針に沿っていない分野	・外務省危険情報2未満の以下の地域は可(遠隔地オコテペケ県、イスラス・デ・ラ・バイア県除く) ・フランスコ・モラサン県(テグシガルバ市を除く)、エルパライス県、チヨルテカ県、バジェ県、ラ・パス県、インティカ県、レンピラ県、サンタ・バルバラ県、コパン県 ・フランスコ・モラサン県テグシガルバ市、グリアス・ア・ディオス県、コロ県、ヨロ県、オランチョ県、コマヤグア県、コルテス県、アトランティダ県オコテペケ県、イスラス・デ・ラ・バイア県	・外務省危険情報2以上の以下地域及びは遠隔地2県は不可	特になし			
中南米	メキシコ	可	・経済の伸展に伴う社会課題 ・域内の知恵の連結性 強化(三角協力)		国別開発協力量針に沿った分野であればいずれも可 工学教育を含む産業人材育成、環境、防災、(エコツーリズムを含む)観光、スポーツ・芸術等分野を特に歓迎 国家資格を要件とする保健医療や社会保障関連の案件についても、大学、医療法人や各専門職の職業団体(協会)との連携を歓迎	なし	メキシコ安全対策措置に沿った地域は可。特に地方都市での受入を歓迎	・メキシコ安全対策措置のとおり。 ・治安状況が複雑なため、詳細地域はリクエストのあった段階で調査の上、可否判断	・必須ではないが案件提案時は、日本・メキシコ間で交流のある大学、民間企業、自治体や日系社会(県人会)等とタイアップした形を推奨 ・査証取得に時間がかかるため、訓練後派遣までの日程は査証取得期間を考慮する必要有			

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊連携派遣募集用 国別一覧

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣ができません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力量針 (注)詳細は外務省サイトでご確認ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ可としている地域に限る。	受け入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ可としている地域でも不可とする地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
アフリカ	ウガンダ	歓迎	・経済成長を実現するための環境整備 ・農村開発を通じた所得向上 ・生活環境整備（保健・安全な水へのアクセス） ・北部地域の社会的安定	・（可能な限り）国別開発協力量針に沿った分野 ・水分野（上下水処理等）、保健医療（医療機器等）、職業訓練（自動車整備等）、教育（体育、小学校教育等）、スポーツ（野球、柔道等）、農業/環境分野等は特に歓迎	・（可能な限り）国別開発協力量針に沿った分野 ・水分野（上下水処理等）、保健医療（医療機器等）、職業訓練（自動車整備等）、教育（体育、小学校教育等）、スポーツ（野球、柔道等）、農業/環境分野等は特に歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	・受入不可とした地域以外は可 ・ただし、任地における交通手段の確保について特に留意し、個別に検討	安全対策措置上、禁止している地域（例：カラモジャ地域、西部地域の一部等）	活動上、英語は必須			
アフリカ	エチオピア	歓迎	・農業・農村開発 ・産業振興 ・インフラ開発 ・教育・保健	職業訓練分野（自動車整備、皮革工芸、工作機械、服飾、ICT）	・国別開発協力量針に沿った分野である農業・農村開発、産業振興、インフラ開発、教育・保健に関するものであればいずれも歓迎 ・特に雇用創出や人材育成に資する教育分野（理科教育、数学教育）、職業訓練分野（自動車整備、皮革工芸、工作機械、服飾、ICT）を歓迎 ・スポーツ振興、社会的弱者支援に関する提案も歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	・首都アディスアベバ市に限定 ・他地域での活動や、アディアベバを拠点とし遠隔・出張で連携する提案も検討可能（外務省危険レベル1以下）。	安全対策措置上、禁止している地域	査証取得に数週間を要するため、訓練後派遣までの日程は査証取得期間を考慮に入れる必要有	<a href="https://www.facebook.com/iicaethiopia/">https://www.facebook.com/iicaethiopia/</a>	<a href="https://www.iica.go.jp/overseas/ethiopia/index.html">https://www.iica.go.jp/overseas/ethiopia/index.html</a>	
アフリカ	ガーナ	歓迎	・インフラ開発 ・農業を含む産業基盤強化 ・保健 ・人材育成	・母子保健 ・初等教育における健康啓発 ・STEM ・農業 ・中小零細企業支援、起業支援 ・理工系の職業訓練分野（自動車整備、電気・電子機器等） ・児童労働対策	1) 国別開発協力量針に記載のある分野 2) 情操教育、スポーツ、障害者支援に関連する分野	左記以外の分野	受入れ不可とした地域以外は可	安全対策措置上、禁止している地域（アッパーイースト州、アッパーウエスト州、ノースイースト州、ノーザン州、サバンナ州）	特になし			
アフリカ	ガボン	可	・社会・生活面の向上と格差是正 ・環境保全 ・産業多角化の推進	・母子保健 ・幼児教育・小学校教育（算数・体育） ・農林水産業 ・観光（エコツーリズム等） ・スポーツ（柔道・空手等）	・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎（または可）	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全対策措置上問題のない地域	安全対策措置上、禁止している地域	特になし	<a href="https://www.iica.go.jp/overseas/gabon/index.html">https://www.iica.go.jp/overseas/gabon/index.html</a>	<a href="https://facebook.com/iicagabon1">https://facebook.com/iicagabon1</a>	
アフリカ	カメルーン	可	・教育を中心とする人的資源開発 ・中小企業振興等を中心とする経済開発 ・農業・農村開発		・国別開発協力量針に沿った分野 ・教育、農業・農村開発、職業訓練・スポーツ分野	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全上、派遣エリアは現在隊員を派遣している中央州、南部州、沿岸州、西部州（一部限定）の4州のみ	安全対策措置上、禁止している地域	査証取得に時間がかかるため、訓練後派遣までの日程は査証取得期間を考慮に入れる必要有			
アフリカ	ケニア	可	・経済インフラ整備 ・産業開発 ・農業開発 ・ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC） ・環境 ・地域の安定化	国別開発協力量針に沿った分野であれば歓迎	・国別開発協力量針に沿った分野であれば可 ・都市計画等、経済インフラ分野は積極的に歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	受入れ不可とした地域以外は可	安全上の理由から、以下の地域は受け入れ不可 トルカカナ、マルサビット、マンデラ、ワジル、イシオロ、サンプル、ウエストボコト、ガリッサ、ラム、タナリバー、バリング、モンバサ * キリフィ、クワレ、ライキディア、メルー、トランスンゾイア、エルゲヨ・マラクウエットについては地域により、あるいは将来的な治安悪化により不可となる可能性有	活動上英語は必須			
アフリカ	ザンビア	可	・産業の活性化 ・経済活動を支えるインフラ整備・社会サービスの向上		国別開発協力量針に沿った分野であれば可	国別開発協力量針に沿っていない分野	受入れ不可とした地域以外は可	安全対策措置上、禁止している地域	活動上英語は必須			
アフリカ	ジブチ	歓迎	・持続可能な経済成長に資する経済社会基盤強化 ・経済成長を支える人材の育成 ・地域の安定化努力支援	農業 水産 環境 気候	国別開発協力量針に沿った分野 大学連携 センサ、リモートセンシング技術	国別開発協力量針に沿っていない分野	原則、隊員派遣中の地域	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
アフリカ	ジンバブエ	歓迎	・南部アフリカ地域経済への円滑な統合 ・豊富な各種資源の有効活用 ・脆弱な人々の人間の安全保障の確保及び社会開発支援		・国別開発協力量針に沿った分野であれば可 ・特に農業、IT、観光、中小企業支援、産業振興、教育、イノベーション、スポーツ、女性や青少年を対象とした活動については、積極的に隊員派遣を目指していることから提案を歓迎。	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	特になし	<a href="https://www.iica.go.jp/overseas/zimbabwe/index.html">https://www.iica.go.jp/overseas/zimbabwe/index.html</a>	<a href="https://www.facebook.com/iicazimbabweoffice">https://www.facebook.com/iicazimbabweoffice</a>	<a href="https://world-diary.iica.go.jp/tomitarisa/">https://world-diary.iica.go.jp/tomitarisa/</a>
アフリカ	セネガル	分野によって 歓迎/可	・産業開発の基盤整備 ・格差是正・レジリエンス強化		・電気・電子機械・設備、日本語教育、スポーツ系職種を歓迎 ・国別開発協力量針に沿った分野であれば可	国別開発協力量針に沿っていない分野	安全対策措置に準ずる地域（該当地域の内、受入れ不可とする地域有り）	有事の際の医療アクセス等の懸念により、隊員の派遣を行わない地域：ケドゥグ州、タンバクンダ州	・要請によっては女性限定になる可能性有 ・フランス語圏であるため、フランス語の習得に意欲がある人材であること。			

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊連携派遣募集用 国別一覧

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣ができません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力量針 (注)詳細は外務省サイトでご確認 ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ 可としている地域に限る。	受け入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ可としている地域でも 不可とする地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
アフリカ	タンザニア	歓迎	・経済成長のけん引セクターの育成 ・経済・社会開発を支えるインフラ開発 ・ガバナンス・行政サービスの向上	国別開発協力量針に沿った分野を希望。	国別開発協力量針に沿った分野は歓迎。特に、技術協力プロジェクト等との連携が見込める分野(農業、職業訓練、母子保健、地方行政等)	国別開発協力量針に沿っていない分野	受け入れ不可とした地域以外は可	安全上、以下の地域は受け入れ不可 ・ムトラ州 ・キゴマ州 ・事務所が渡航禁止としている地域。 ・上記地域以外に隊員の派遣予定がない地域がある。安全対策上、孤立した隊員の配置は避けたいため、派遣地域については希望を聞きながら調整する。	労働許可証、滞在許可証取得に時間を要するため、赴任時期は訓練後約2ヶ月を見込む必要あり	<a href="https://world-diary.jica.go.jp/blog/?country=%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%82%B6%E3%83%8B%E3%82%A2#resultsArea">https://world-diary.jica.go.jp/blog/?country=%E3%82%BF%E3%83%B3%E3%82%B6%E3%83%8B%E3%82%A2#resultsArea</a>	<a href="https://www.jica.go.jp/overseas/tanzania/activities/volunteer/index.html">https://www.jica.go.jp/overseas/tanzania/activities/volunteer/index.html</a>	<a href="https://www.facebook.com/JICATanzania/">https://www.facebook.com/JICATanzania/</a>
アフリカ	ナミビア	歓迎	・産業基盤強化 ・貧困削減・生計向上への貢献		国別開発協力量針に沿った分野は歓迎。特に教育分野の算数・数学教育または小・中等学校における体育/スポーツ指導、ICT分野、環境教育分野併せて、野生動物や環境保護を目的とした活動を行う団体等が多いため、同分野に関心がある本邦の大学との連携も歓迎する。	「直接患者への治療行為を行う医療分野および獣医師分野」は事前に従事者の登録等が必要であり不可	受け入れ不可とした地域以外は歓迎	北部地域州「Omusati州、Oshana州、Ohangwena州、Kavango West & East州、Zambezi州」は安全上の理由から不可	特になし	ナミビア通信   海外での取り組み - JICA	<a href="https://www.jica.go.jp/Resource/namibia/office/others/world-diary/index.html">https://www.jica.go.jp/Resource/namibia/office/others/world-diary/index.html</a>	<a href="https://www.jica.go.jp/overseas/namibia/index.html">https://www.jica.go.jp/overseas/namibia/index.html</a>
アフリカ	ベナン	歓迎	・インフラ整備 ・産業振興 ・国民生活の環境改善	職業訓練(自動二輪車のメンテナンス)	・農業・福祉分野(特別な専門的知識、技術を要しないコミュニティ開発) ・職業訓練分野(PCインストラクター・自動車整備等)	国別開発協力量針に沿っていない分野	ベナン南部8県(リトラル県・アトランティック県・モノ県・クワオ州・ズー県・ウエメ県・プラトー県・コリンヌ県)	左8県より北4県(治安上の理由による)	・2026年度1次隊(2026年夏)以降、受け入れ可。 ・年間を通じて高温多湿、かつ医療サービスが脆弱であるため、基本、健康で自己管理できる人材であること。 ・フランス語圏であるため、フランス語の習得に意欲がある人材であること。			
アフリカ	ボツワナ	可	・産業多角化に向けた環境整備 ・貧困削減及び生活の質の向上	スポーツ 障害児者支援	国別開発協力量針に沿った分野であれば可	国別開発協力量針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
アフリカ	マダガスカル	歓迎	・農業・農村開発 ・経済インフラ開発 ・社会セクター開発 ・ガバナンス改善 ・海洋の安定化努力支援	・栄養(関連する技術協力プロジェクトおよび県の根拠あり) ・日本語教育(サブサハラ地域の日本語学習者数1位でニーズあり) ・スポーツ(柔道・ラグビーは協力実績があり、受入体制良好)	・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎 ・受入希望分野である栄養、日本語教育、スポーツに加え、特に農業、村落開発、観光、環境(生物多様性)分野については当地での連携可能性が考えられるため歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	アナラマンガ県(遠隔地を除く)、国道1号線テルママンディティまで、国道2号線アンダシベまで、国道7号線フィアナランツァまで、国道34号線ベタフまで、国道43号線の車両でアクセス可能な幹線道路沿いの地域並びに飛行機でのアクセスによるトアマシナ及びマジュンガは可	安全対策措置上、禁止している地域	活動上マダガスカル語かフランス語は必須。生活言語はマダガスカル語			
アフリカ	マラウイ	歓迎	・産業育成及び経済インフラ整備(農業・産業開発プログラム/経済インフラ整備プログラム) ・基本的社会サービスの向上(保健・衛生プログラム/学びの質向上プログラム)		・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎 ・特に小学校教育、理科教育、理学療法士、看護師(NDCs)、栄養士の職種の含まれる提案は歓迎	国別開発協力量針に沿っていない分野	受け入れ不可とした地域以外は可	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
アフリカ	モザンビーク	歓迎	・人間開発・社会開発(保健サービス向上、教育の質の改善、社会的包摂性の改善、国民生活の質向上に向けた社会サービス提供のための基盤整備) ・経済成長・生産性向上・雇用の創出(農業、社会インフラ整備、漁業・養殖、天然資源開発、観光など経済活性化・多角化に貢献する産業振興)	・教育分野(最優先) ・保健医療分野 ・その他、国別開発協力量針に沿った案件であれば検討可 ・国別開発協力量針に沿わない分野であっても条件次第では検討可	・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎。国別開発協力量針に沿ってなくとも、任国のニーズ、受入機関の体制、高い協力効果などの条件が揃えば検討可。 ・教育分野(小学校教育)、保健医療(母子保健)、農業分野(稲作、畑作、市場開拓)では協力隊活動と技術協力との連携も期待される。 ・特に教育分野では、技術協力プロジェクトによる国定教科書(算数)作成支援が実施されており、隊員による現場での支援が求められているため歓迎。	国別開発協力量針に沿っていない分野(原則。例外はあり得る)	基本的にマプト州、ガザ州に限定。	左記以外	活動上、ポルトガル語は必要。ただし、長期隊員とともに活動する短期隊員は活動場所などの条件が整えば英語でも可。	<a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiiko/oda/files/000072471.pdf">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiiko/oda/files/000072471.pdf</a>		
アフリカ	ルワンダ	可	・経済基盤整備(運輸交通・貿易円滑化・電力) ・農業開発(高付加価値化・ビジネス化) ・社会サービスの向上(安全な水・衛生サービスの持続的な提供) ・成長と雇用創出を支える人材育成(科学技術教育・訓練)		・国別開発協力量針に沿った分野であれば積極的に歓迎(または可) ・スポーツ支援や障害者支援、情操教育の支援を歓迎	保健分野について、医療(侵襲)行為を伴う案件は不可。啓蒙活動等は可	受け入れ不可とした地域以外は可	ルバブ郡、ニャビフ郡、ムサンゼ郡、プレラ郡、ルシンジ郡、ニャルグル郡、ニャマガベ郡への派遣は治安上の問題から不可	日本において、現地での査証切替手続きに必要な犯罪経歴証明書の取得(日本の警察署での手続きが必要)に時間がかかるため、訓練後派遣までの日程は取得に要する期間を考慮に入れる必要あり			
アフリカ	南アフリカ	歓迎	・成長加速化に向けた人材基盤の強化とインフラ開発促進支援 ・経済・社会的格差是正に向けた支援 ・南部アフリカの開発促進	教育分野 農業分野 障がい児者支援 スポーツ	国別開発協力量針に沿った分野であれば可	国別開発協力量針に沿っていない分野	隊員派遣対象エリアであれば可	大都市のCBDエリア、病院へのアクセスが困難なエリアなどは不可	特になし	<a href="https://www.jica.go.jp/overseas/southafrica/office/index.html">https://www.jica.go.jp/overseas/southafrica/office/index.html</a>	<a href="https://www.facebook.com/jicasaoffice/">https://www.facebook.com/jicasaoffice/</a>	

別紙2 2025年度 JICA 海外協力隊派遣選集 国別ニースー

ご応募前に外務省のサイト「海外安全ホームページ」(https://www.anzen.mofa.go.jp/riskmap/)にて、ご応募を検討されている対象国・地域の安全情報をご確認ください。危険情報2以上の地域は派遣ができません。その他、1以下の地域でも、国によって制限があります。

地域	国名	連携派遣 受入希望	国別開発協力方針 (注)詳細は外務省サイトでご 確認ください。	受入希望分野	受け入れ可能分野	不可とする分野	受け入れ可能地域 (注)安全対策措置上受け入れ 可としている地域に限る。	受け入れ不可地域 (注)安全対策措置上受け入れ可 としない地域。	その他受け入れ時の条件や留意事項	参考URL1	参考URL2	参考URL3
大洋州	バブア ニューギニア	歓迎	・経済成長基盤の強化 ・社会サービスの向上 ・環境・気候変動・防 災	・教育分野 ・農業分野 ・保健分野 ・土木建設分野 ・環境教育/保全分野	・国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎 ・教育分野(小学校教育)、農業分野(稲作、畑作、農業機械)、保健医療(感染症対策)、土木建設、環境保全(廃棄物管理、森林保全)では協働活動と技術協力との連携も期待される。 ・特に教育分野では、技術協力プロジェクトによる国定教科書(算数・理科)作成支援が実施されており、隊員による現場での支援が求められているため歓迎。	国別開発協力方針に沿っていない分野	隊員派遣中の6州(セントラル、オロ、東ニューブリテン、ミルンベ、ニューアイルランド、東ハイランド)以外の地域 ・他の州については隊員派遣再開を検討予定	・6州(セントラル、オロ、東ニューブリテン、ミルンベ、ニューアイルランド、東ハイランド)以外の地域 ・他の州については隊員派遣再開を検討予定	・安全対策上の理由により、男性派遣 ・査証取得に時間がかかるため、訓練後派遣までの日程は査証取得期間を考慮に入れる必要有(公用旅券発給後、1ヵ月程度の期間が必要)	JICA PNG 事務所 海外協力隊ページ https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/1521082_14098.html	海外協力隊員がバブアニューギニアの算数・理科授業のレベルアップに貢献！ https://www.jica.go.jp/overseas/png/information/topics/2023/20231120.html	教育技プロ(国定教科書の作成)の紹介 https://www.jica.go.jp/Resource/topics/2019/20200311_01.html
大洋州	キリバス	可	・気候変動・防災対策 ・脆弱性の克服		・国別開発協力方針に沿った分野であれば可。特に保健分野(栄養改善)、観光(観光開発、商品開発、市場開拓)、手工芸(一村一品、デザイン、土産物開発)、技術系分野(建設機械、自動車整備、コンピュータ技術、獣医衛生)、日本語教育	国別開発協力方針に沿っていない分野	・南タラワのみ	・南タラワ以外は安全管理の問題もあり、現在派遣を行っていないため不可	特になし			
大洋州	サモア	可	・環境・気候変動 ・脆弱性の克服		特に「獣医」「衛生」分野は歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	受け入れ不可とした地域以外は可	首都島から定期運航便が運航されていない離島は安全上の理由から不可	90日以上滞在は査証取得に日数を要する(旅券番号取得後2ヵ月程度必要)			
大洋州	ソロモン	歓迎	・脆弱性の克服 ・環境・気候変動・防 災	上下水道、廃棄物管理、林産加工、漁業	国別開発協力方針及び協力隊事業重点分野(保健、教育、産業振興、環境)に沿った分野であれば歓迎	国別開発協力方針、協力隊事業重点分野に沿っていない分野	・地方州は安全・健康対策上の観点から地域を限定、また45才以下	・首都からの移動が著しく困難な地域。	・語学は基本英語だが、配属先の環境によっては、現地での英語の学習も必要となる ・複数名派遣(短期含む)の場合は、現場に核になる長期隊員の派遣が条件。			
大洋州	トンガ	可	・環境・気候変動 ・脆弱性の克服	受入可能分野と同様	教育、農業、保健医療(感染症疾患等)、環境分野、スポーツであれば可。特に珠算、日本語教育、野菜栽培、看護師、環境教育等の提案は歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	教育系の職種は、年末年始に長期休暇に入るため、1次隊(7月頃派遣)、3次隊(4月頃派遣)を推奨 短期隊員は即時に活動が可能なレベルの語学力(英語)が必須。また、離島派遣の場合、配属先の住居提供がない場合は受け入れが難しい。 住居の確保が困難なため、特に短期隊員の複数名の受け入れは不可			
大洋州	バヌアツ	歓迎	・脆弱性の克服 ・環境・気候変動・防 災	・教育分野(算数教育・環境教育・防災等) ・保健分野(学校保健、生活習慣病対策等)	国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	現状はエファテ、サント、マレク島派遣に止まっているが、コロナ禍前の派遣エリアに戻している途中でもある。したがって右3島以外の離島派遣は要事前相談。	安全対策措置上、禁止している地域	査証取得には、健康診断書と犯罪経歴証明書の提出が必要。特に、犯罪経歴証明書については、公用旅券発行後の申請となるため、査証取得期間に留意が必要。	https://www.jica.go.jp/overseas/vanuatu/index.html	隊員の活動(教育分野) https://www.jica.go.jp/Resource/vanuatu/office/information/event/190620.html	隊員の活動(保健分野) https://www.jica.go.jp/Resource/vanuatu/office/information/event/190607.html
大洋州	パラオ	歓迎	・持続可能な海洋の実現 ・社会基盤・産業育成 基盤の強化、民間投資 の支援及び人材育成 ・気候変動・環境問 題・防災への対応	・受け入れ可能分野と同様 ・スポーツ分野も検討可能	国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	コロール州、バベルダオブ島各州、ペリリュー州、アンガウル州	離島であるカンゲル州、ソンソロール州、ハトホベイ州、トビ州への派遣は緊急時対応が困難なため派遣不可	案件によっては、住居がホームステイとなる場合がある。特に主要都市コロール州以外の地域への派遣の場合、ホームステイとなる可能性がかなり高い	https://www.bing.com/videos/rivew/relatedvideo?q=youtu+JIC+Palau&mid=07D28588B20A19D18F3307D28588B20A19D18F33&FORM=VIRE	https://www.jica.go.jp/Resource/palau/ku57pq000046dga-att/pamohlet_ip.pdf	
大洋州	フィジー	可	・経済発展に向けた基 盤整備 ・気候変動・環境対策 ・社会サービスの質の 向上	受け入れ可能分野と同様	・国別開発協力方針に沿った分野であれば可	学校での活動は、当地での教師登録が必要のため、(無)犯罪証明書、教師免許、大学卒業証明書が必要である他、登録から取得までに時間を要するため不可	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			
大洋州	マーシャル	歓迎	・脆弱性の克服 ・環境・気候変動	「受け入れ可能分野」の通り	経済社会インフラ整備・維持管理能力強化(重機維持管理に係る建設機械、船舶機関など) 職業訓練・技術習得支援(日本語教育など) 循環型社会形成支援・自然環境保全(環境教育、廃棄物処理)を歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	首都マジュロおよびクワジェリン環礁イバイ島が可 ※日本語教育は首都マジュロのみ	「受け入れ可能地域」以外の地域	・入国に際し、犯罪経歴証明書と健康診断結果の提出が必要。犯罪経歴証明書は、各隊員が自治体で申請するが、発給に要する日数は自治体により異なる(1週間-10日) ・犯罪経歴証明書を在外拠点で受領した後の現地受入手続きに最低約3週間を要するため、派遣前訓練修了後から着任日まで期間があくことが想定される。 ・小島嶼国のため配属先数が限られることから、各募集要請との調整を考慮する必要有 ・各職種に必要な免許・資格要件があるため要相談	Marshall Islands Guide (省庁名等様々な情報が掲載) https://www.infomarshallislands.com/names-of-rmi-ministries/	大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト https://www.jica.go.jp/activities/issues/env_manage/ku57pq00001qnsb9-att/haiki_51.pdf	
大洋州	ミクロネシア	可	・脆弱性の克服 ・環境・気候変動		国別開発協力方針に沿った分野であれば積極的に歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	どの地域でも可とするもののポンペイ州を特に歓迎	各州の離島は安全管理上の理由から不可	医療系隊員の場合、現地医療免許の発行に時間がかかるため、3か月以下の短期派遣による病院等の医療現場での活動は困難			
ヨーロッパ	セルビア	可	・民間セクター開発 ・環境保全 ・経済社会サービスの 向上		・国別開発協力方針に沿った分野であれば可 ・「柔道」「空手」であれば歓迎	国別開発協力方針に沿っていない分野	どの地域でも可	安全対策措置上、禁止している地域	特になし			